

令和4年11月10日  
中央図書館

## 梅丘図書館改築の取組みについて

### 1 主旨

梅丘図書館の改築については、第2次世田谷区立図書館ビジョンに基づき、平成28年度に基本構想を策定し、平成30年度に基本設計、令和元年度に実施設計を行った。新型コロナウイルス感染症に伴う全庁的な緊急見直しにより、工事が先送りになっていたが、令和5年度の工事着工に向けて進めている取組みについて報告する。

### 2 改築後の梅丘図書館の概要

#### (1) 敷地・建物の概要

- ①所在地 世田谷区代田四丁目38番10号
- ②敷地面積 約2,414㎡（羽根木公園全体 約81,280㎡）
- ③用途地域 第一種中高層住居専用地域（建ぺい率60%、容積率150%）
- ④建物構造 地上3階建て、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- ⑤建築面積 約855㎡
- ⑥延床面積 約2,024㎡（図書館部分 約1,948㎡）
- ⑦主な諸室
  - 1階 エントランスホール、予約図書コーナー、情報発信エリア（展示書架、デジタルサイネージなど）、ワークショップエリア、カフェエリア（飲食可能な閲覧席、テラス、新聞・雑誌書架）、閉架書庫
  - 2階 一般図書コーナー（地域資料、大活字本などを含む）、閲覧席（窓・壁面、階段・吹抜けまわりなど）、対面朗読室・録音室、事務室（作業室）
  - 3階 子どもコーナー（児童書、絵本）、おはなしの部屋（紙芝居、絵本）、公園と図書館がつながるエリア（居心地の良い空間、生活関連書架など）、テラス、多目的室、事務室（作業室）

※敷地・建物の詳細は、別紙1（案内図、配置図、平面図、立面図、断面図）のとおり

### 3 施設整備の特色等

#### (1) 立地環境を生かした特色

- ・図書館と羽根木公園を結ぶ導線（3階フロアと公園の高さを合わせ、直通エレベーター及びブリッジの整備など）
- ・公園との一体性を感じさせる建築（北側1～3階の階段3層吹き抜け構造と、安全で回遊性のある3階テラスの整備など）
- ・敷地北西側の土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の解消（擁壁の整備など）

## (2) 改築後のコンセプト

改築後の梅丘図書館については、(1)にあるような羽根木公園内という立地環境を活かした豊かな感性と創造力を育む図書館をめざし、本や人との新たな学びや出会い、一人ひとりに合った居場所づくりなど、各フロアに以下のようなコンセプトを持たせながら整備を進めていく。

- 【1階】賑わい・交流・創作・発信のフロア
- 【2階】新たな学びや自分に合った居場所に出会えるフロア
- 【3階】自然を感じながら感性を育むフロア

## (3) 設計の一部変更

### ①新型コロナウイルス感染症を踏まえた変更

- ・オープンな空間利用に向けた1階ワークショップエリアの壁面の撤去および3階多目的室の可動間仕切り壁の撤去
- ・ソーシャルディスタンス等の環境に配慮した2階閲覧席の間仕切りの設置

### ②図書館DXの推進に向けた変更

- ・インターネット予約による図書の自動受取り機や自動貸出・返却機等のICタグ関連機器活用により、窓口業務の自動化・効率化を図り、レファレンス等の相談業務を強化するための書架配置等の見直し

※各フロアの詳細イメージは、別紙2「改築後の梅丘図書館について」のとおり。

## (4) 今後に向けて

引き続き、世田谷区立図書館運営協議会における意見や利用者向け説明会の実施などを通じて、利用者からの視点を取り入れながら、什器やサービス内容等の検討を継続して進めていく。

## 4 工事期間中の対応について

### (1) 代替施設における運営

工事期間中は梅丘図書館での運営を一旦終了し、休館する。休館期間中は代替施設を設置して、一部業務を運営する。

#### ①代替施設概要

所在地：世田谷区松原六丁目4-1-8

面積：約103㎡

#### ②運営期間（予定）

令和5年6月～令和7年秋ごろ

#### ③開館時間・休館日

午前9時から午後7時

※館内整理日（毎月第三木曜）及び年末年始は休館

#### ④業務内容

図書資料の予約受付・貸出・返却等の業務を行うほか、ボランティア活動や出張おはなし会などの事業を可能な限り実施する。なお、予約受付・貸出・返却等の業務については、引き続き株式会社図書館流通センターに業務委託する。

(2) 工事期間中の図書館資料の取扱い

梅丘図書館に所蔵する資料（約9万点）について、他の区立図書館には所蔵していない資料（約8千点）のうち、貸出頻度の多い資料等は中央図書館保存庫に移管し、中央図書館で貸出・返却等の業務を行う。その他の所蔵資料は、民間事業者の倉庫に搬送し保管する。

5 運営体制について

改築後の運営手法は、世田谷区立図書館運営協議会における評価・検証などの意見や議論を踏まえ、世田谷らしい魅力ある図書館の実現や安定的な図書館サービスを継続して提供することができる体制を検討していく。

6 概算経費（想定）

(1) 改築工事経費（工事監理含む）

約1,900,000千円（令和5年～7年度）

(2) 図書館資料の移転・保管経費

約28,000千円（令和5年～7年度）

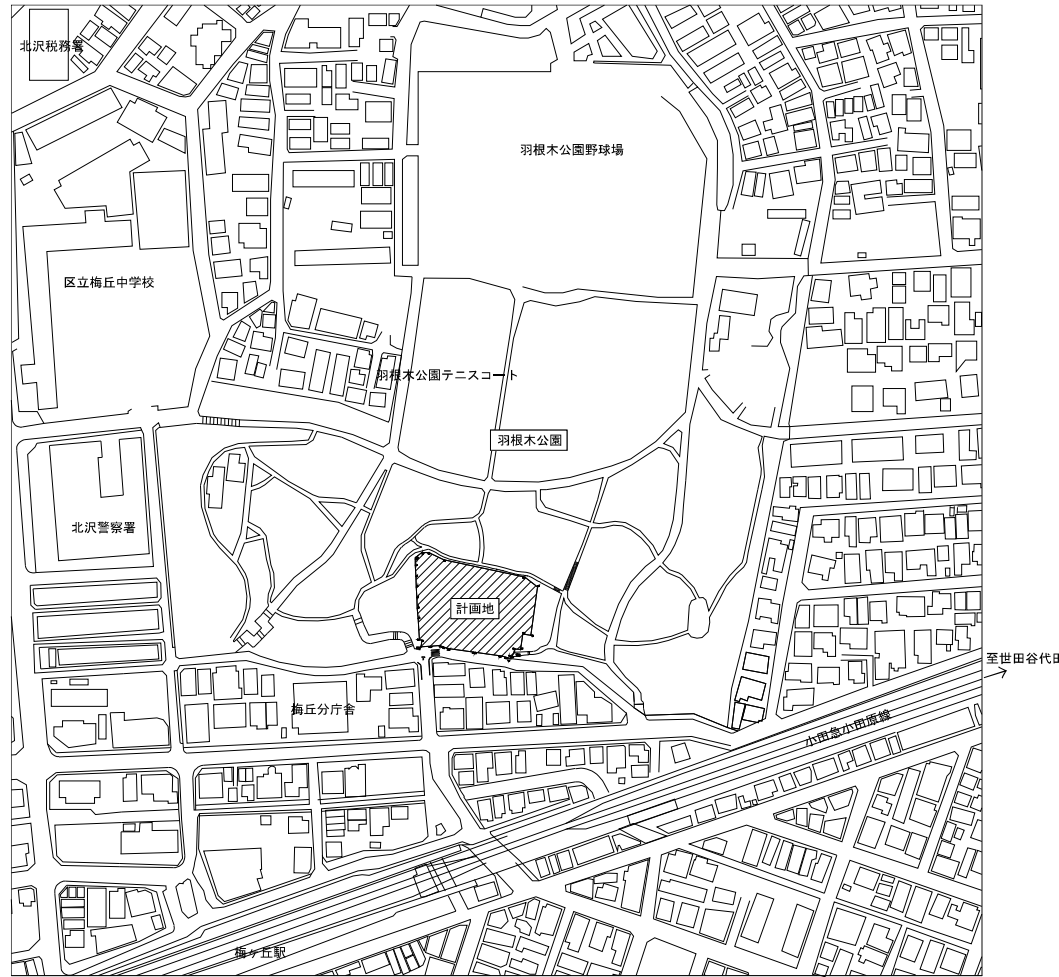
(3) 代替施設の年間運営経費

約38,000千円／年

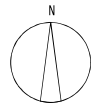
7 今後のスケジュール（予定）

令和5年	5月下旬	梅丘図書館休館
	6月～	代替施設における運営の開始
	7月	工事説明会
	8月～	梅丘図書館改築工事着工（～令和7年7月竣工予定）
令和7年	秋ごろ	改築後の梅丘図書館開設

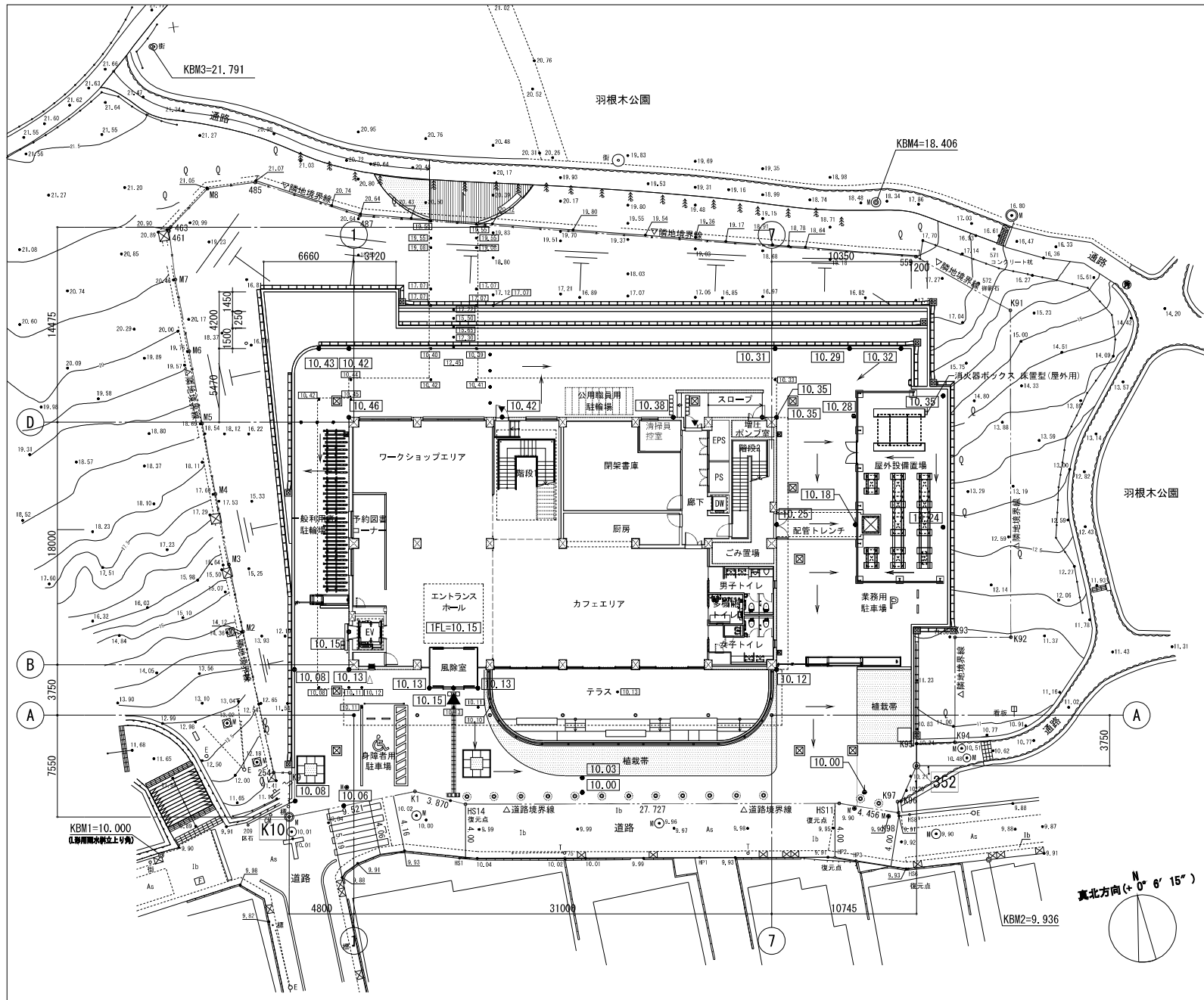
建設地 住居表示：世田谷区代田四丁目38番10号  
 地名地番：世田谷区代田4-1550の一部



案内図 1/3000



建物概要		
工事名称	世田谷区立梅丘図書館改築工事	
建設地・住居表示	世田谷区代田四丁目38番10号	
建設地・地名地番	世田谷区代田4-1550の一部	
用途地域・区分	第一種中高層住居専用地域、準防火地域、150%/70% (容積率/建ぺい率)	
敷地面積	2,413.56 m <sup>2</sup>	
建物構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	
新築	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延床面積 (m <sup>2</sup> )
	855.33	2,024.07
解体 (既存図より)	—	1,636.57



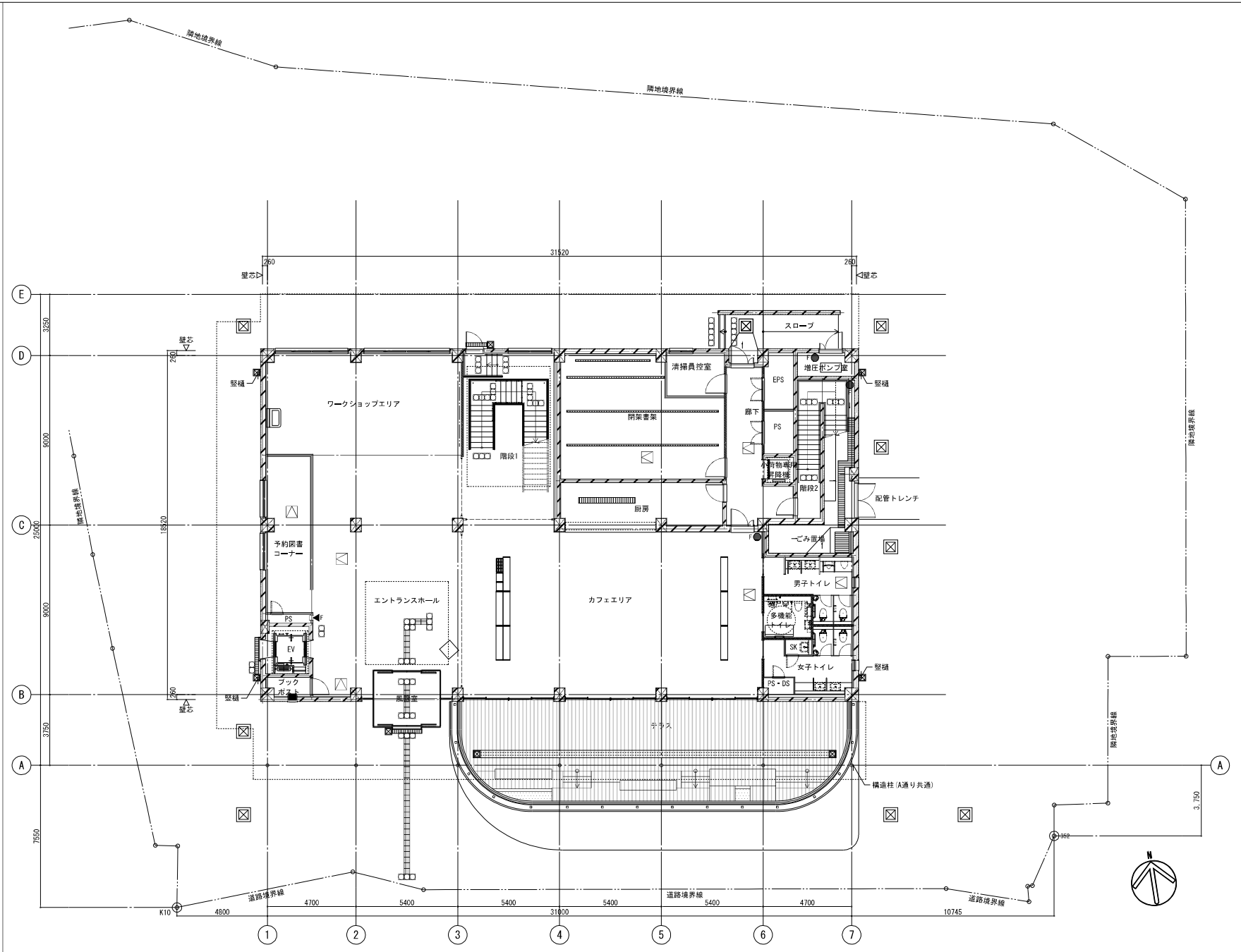
建物面積表 (㎡)

階数	床面積 (㎡)
1階	769.84
2階	725.98
3階	528.25
合計	2,024.07

配置図 1/300

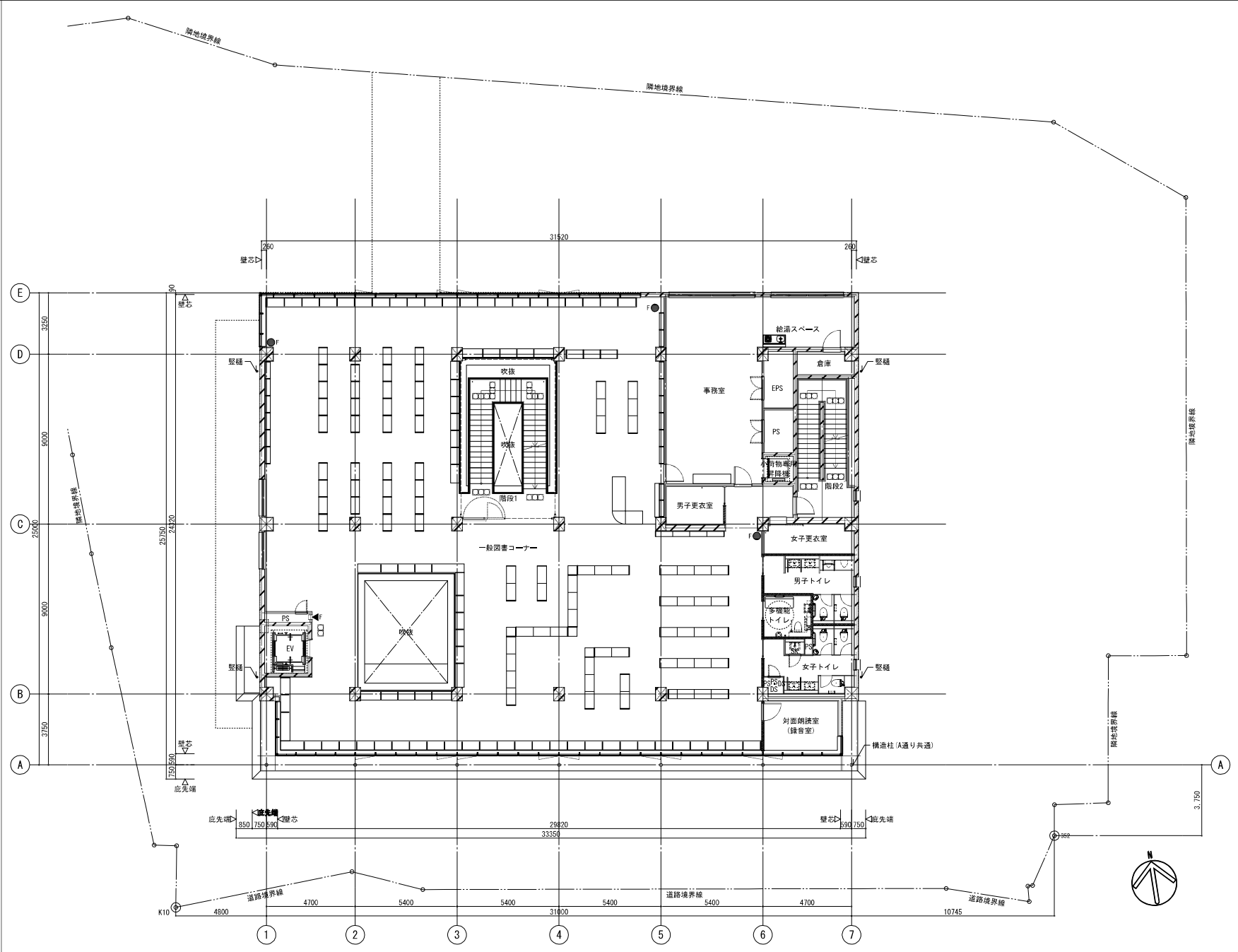
凡例	
● [10.00]	TP (東京湾平均海面) からの高さ 平均地盤面算定元レベル
● 10.00	TP (東京湾平均海面) からの高さ
KBM1 = TP + 10.00	
IFL = KBM1 + 150mm = TP + 10.15	
設計GL = IFL - 150mm = KBM1 ± 0 = TP + 10.00	
地盤面1平均地盤面 = 設計GL + 379mm = TP + 10.379	
接道長さ = 45.574m	

凡 例	
	RC壁
	ECP壁
	ALC壁
	上記以外の壁はLGS壁とする
	消火器ボックス 全埋込
	消火器ボックス 床置 (別途工事)
	視覚障害者用点字紙 注意喚起
	視覚障害者用点字紙 誘導
	点字
	床点検口
	再生木デッキ



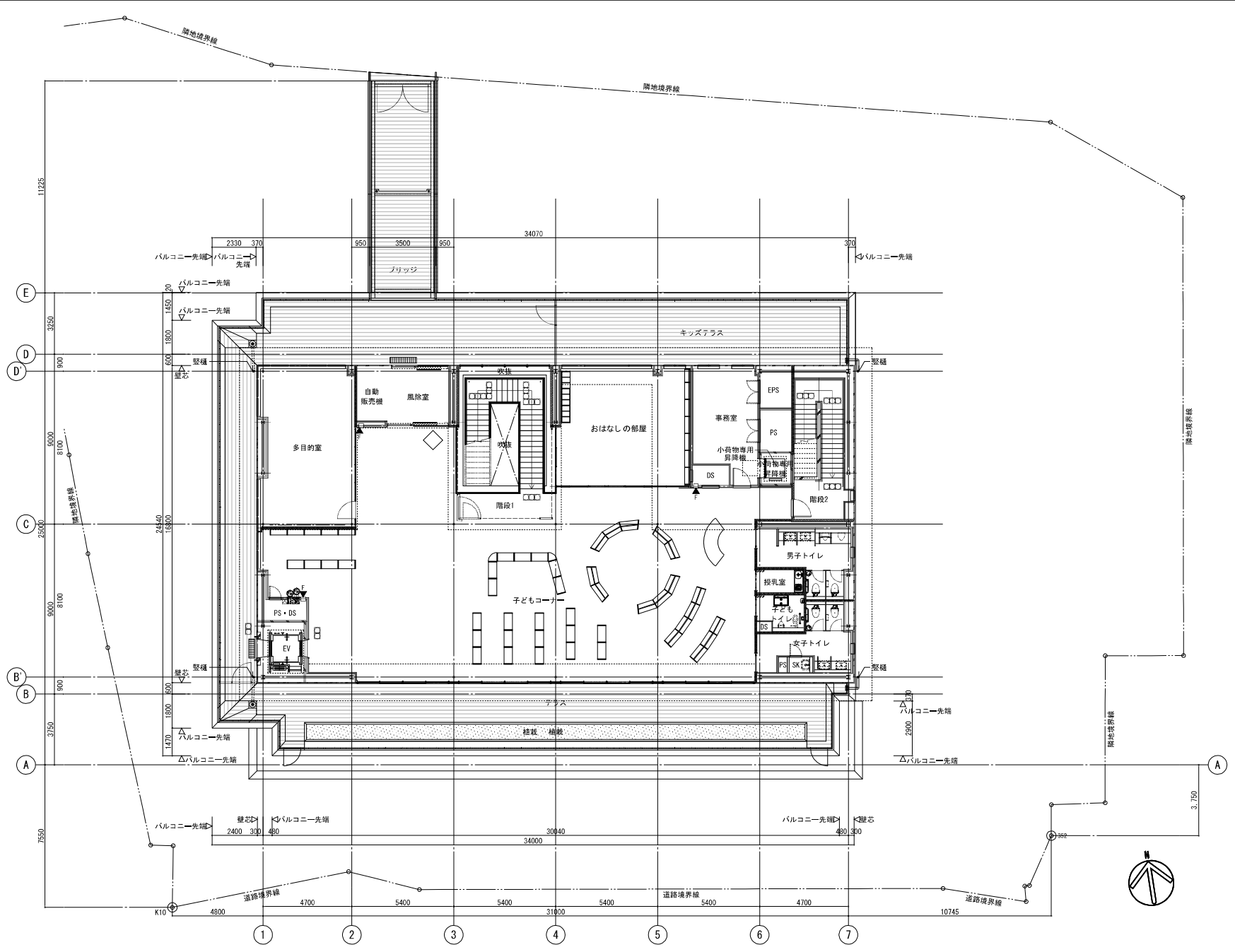
1階平面図 1/200

凡 例	
	RC壁
	ECP壁
	ALC壁
	上記以外の壁はLGS壁とする
	消火器ボックス 全埋込
	消火器ボックス 床置 (別途工事)
	視覚障害者用点字線 注意喚起
	視覚障害者用点字線 誘導
	堅柱
	再生木デッキ



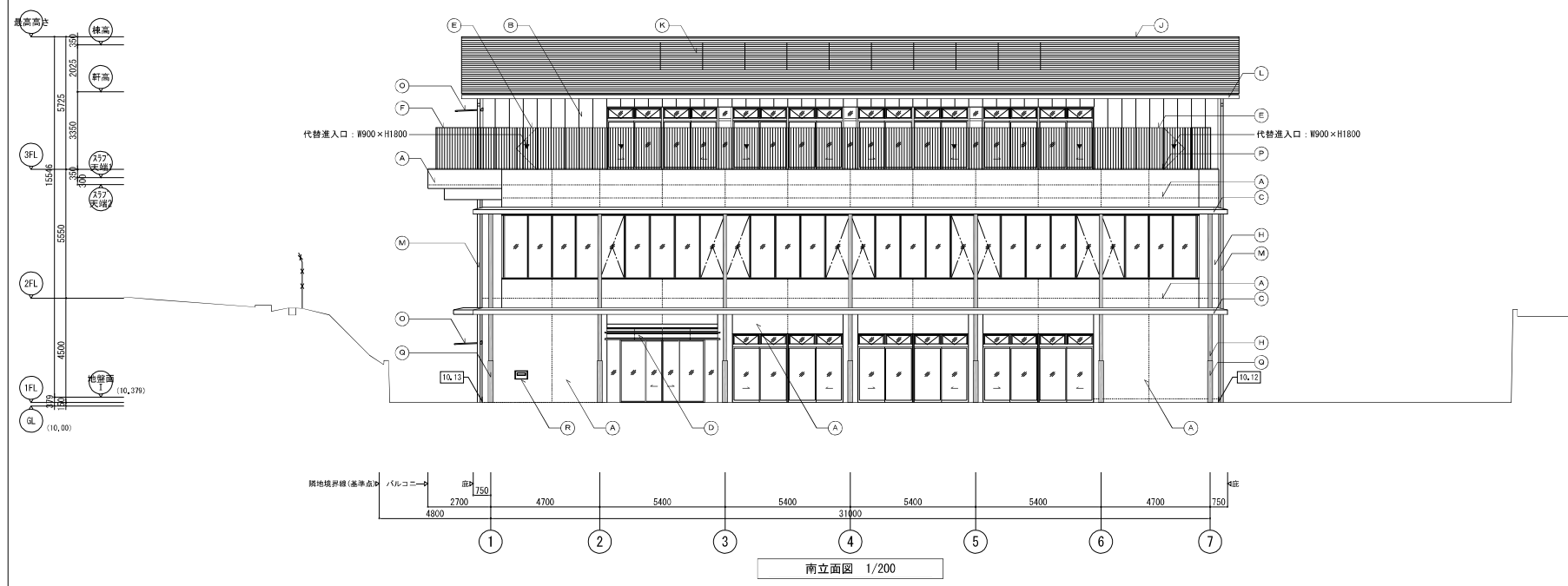
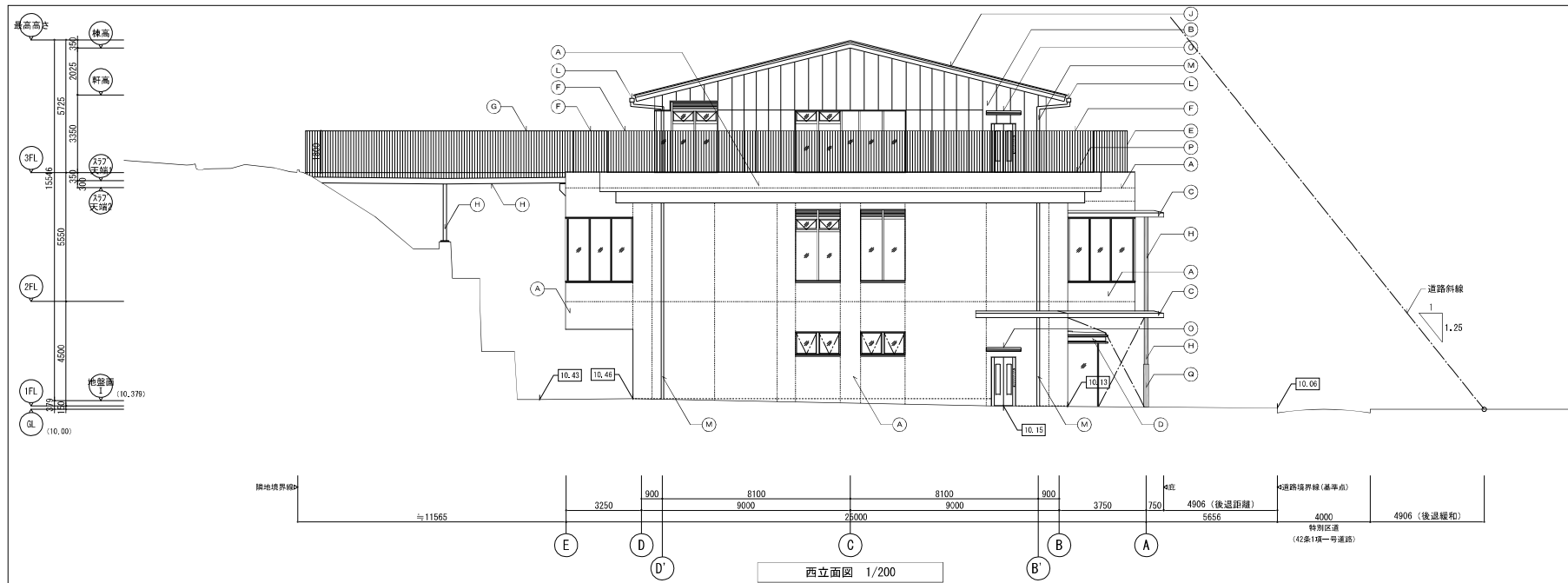
2階平面図 1/200

凡 例	
	RC壁
	ECP壁
	ALC壁
上記以外の壁はLGS壁とする	
	消火器ボックス 全埋込
	消火器ボックス 床置 (別途工事)
	視覚障害者用点字線 注意喚起
	視覚障害者用点字線 誘導
	壁柱
	再生木デッキ

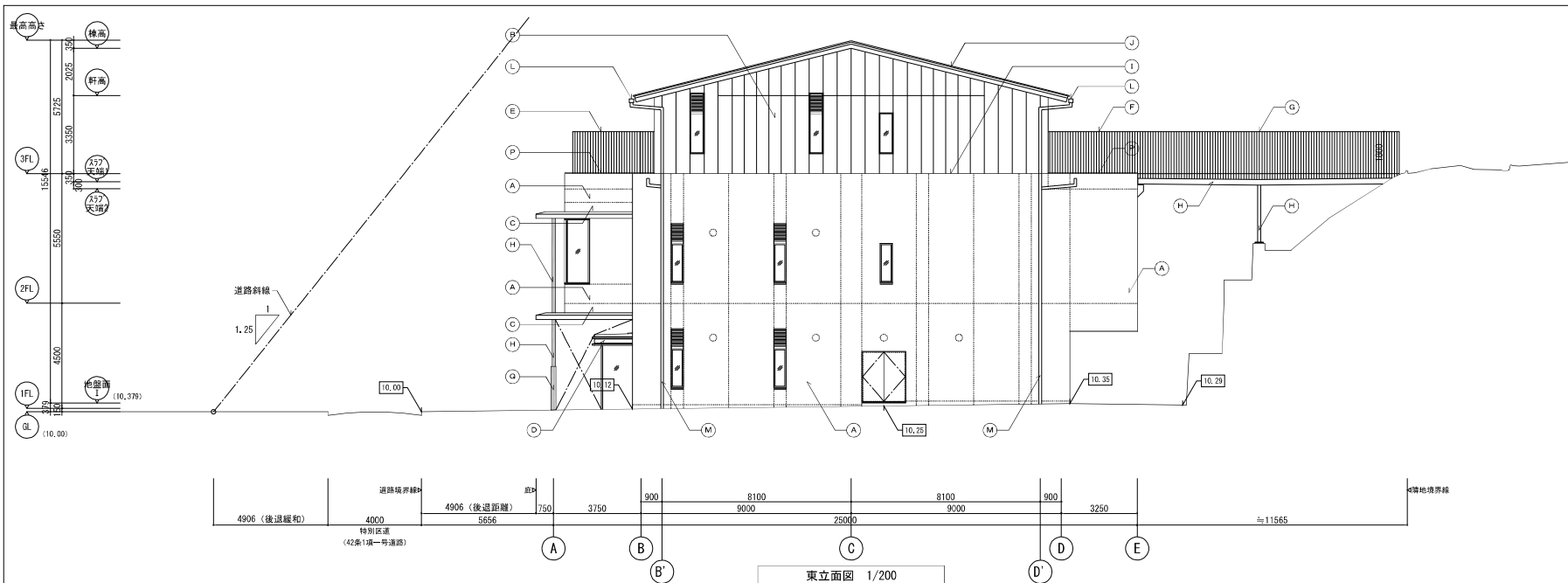


3階平面図 1/200

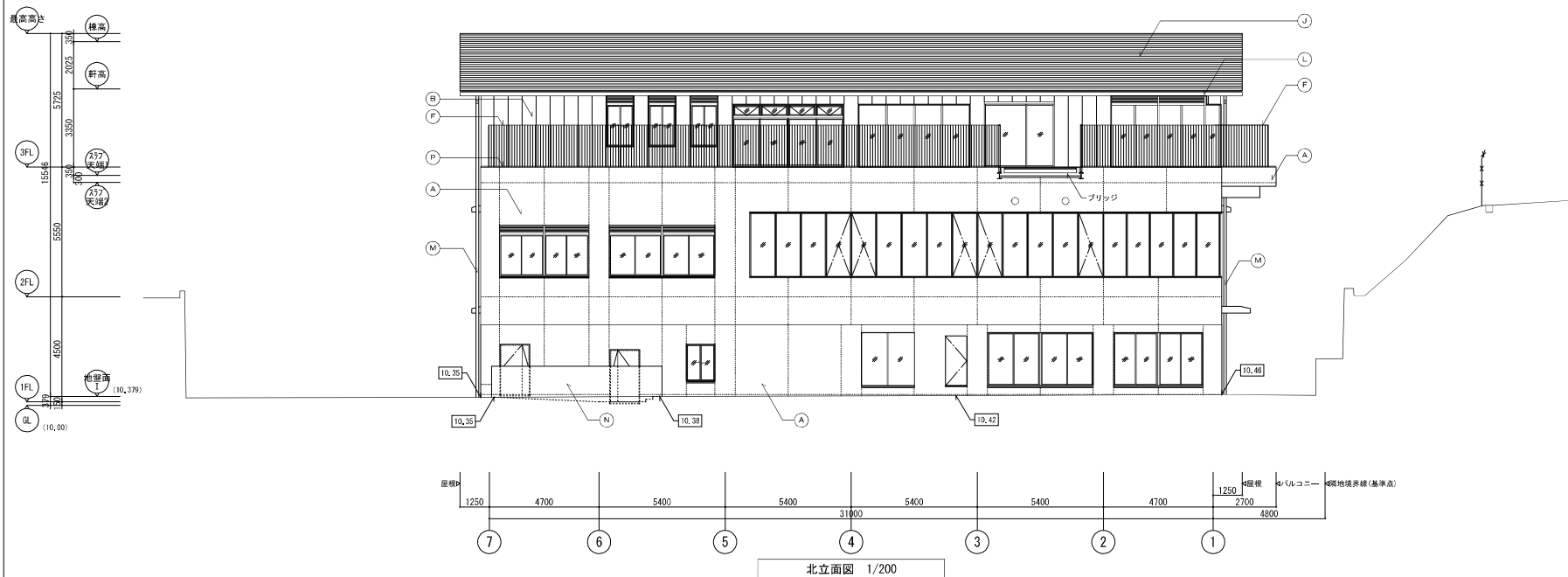




凡例	
(A)	コンクリート打敷し仕上げ層の上、可とう形外装断熱材
(B)	EPDの上、可とう形外装断熱材
(C)	コンクリート打敷し仕上げ層の上、外装断熱材
(D)	アルミパネル
(E)	バルコニー手摺(溶融亜鉛メッキ処理)
(F)	バルコニー手摺(溶融亜鉛メッキ処理)
(G)	ブリッジ手摺(溶融亜鉛メッキ処理)
(H)	耐火塗料
(I)	アルミ製水切
(J)	金属断熱
(K)	太陽光パネル(屋根一体型)
(L)	軒樋
(M)	窓枠
(N)	コンクリート打敷し仕上げ層の上、外装断熱材
(O)	アルミ製庇
(P)	アルミ製窓木
(Q)	柱保護パネル(溶融亜鉛メッキ処理)
(R)	ブックポスト

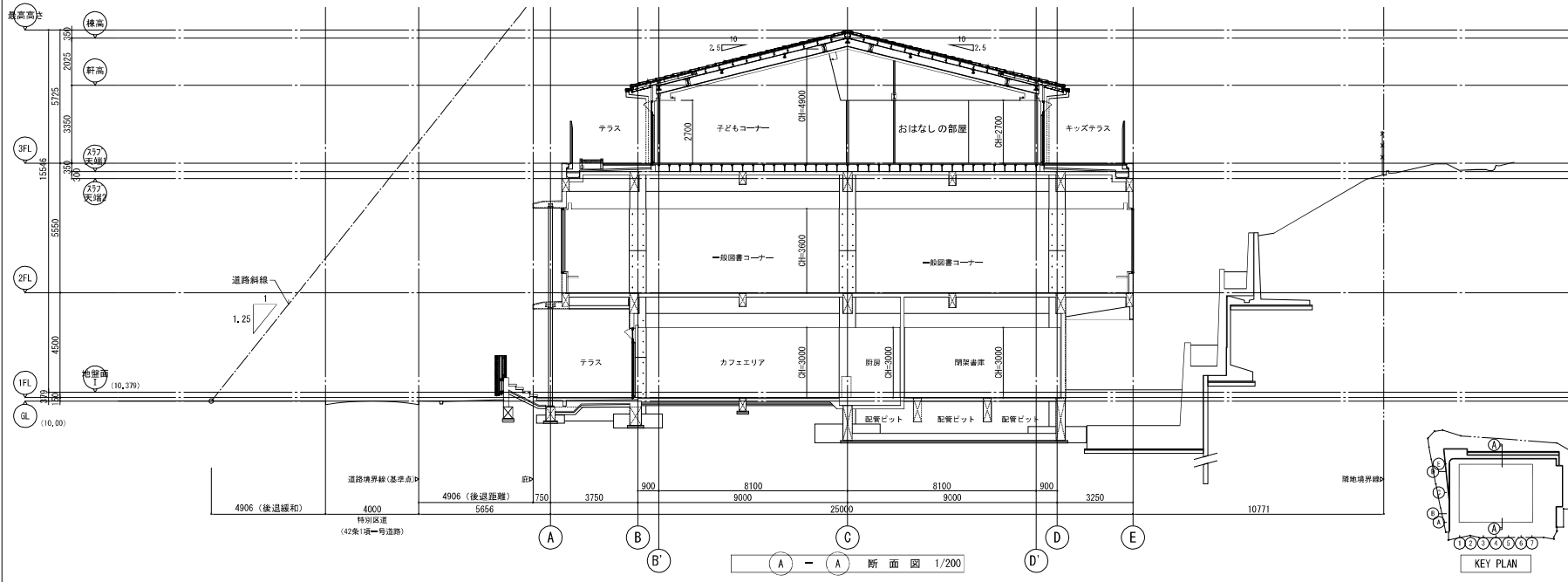
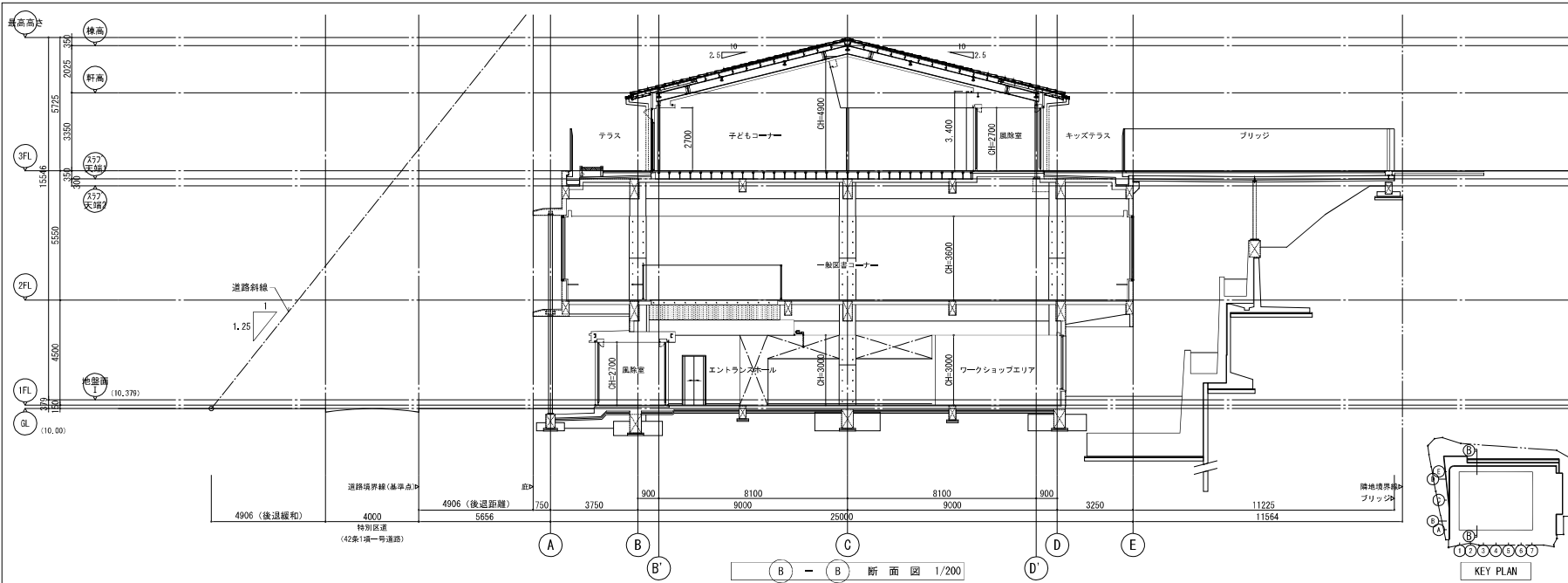


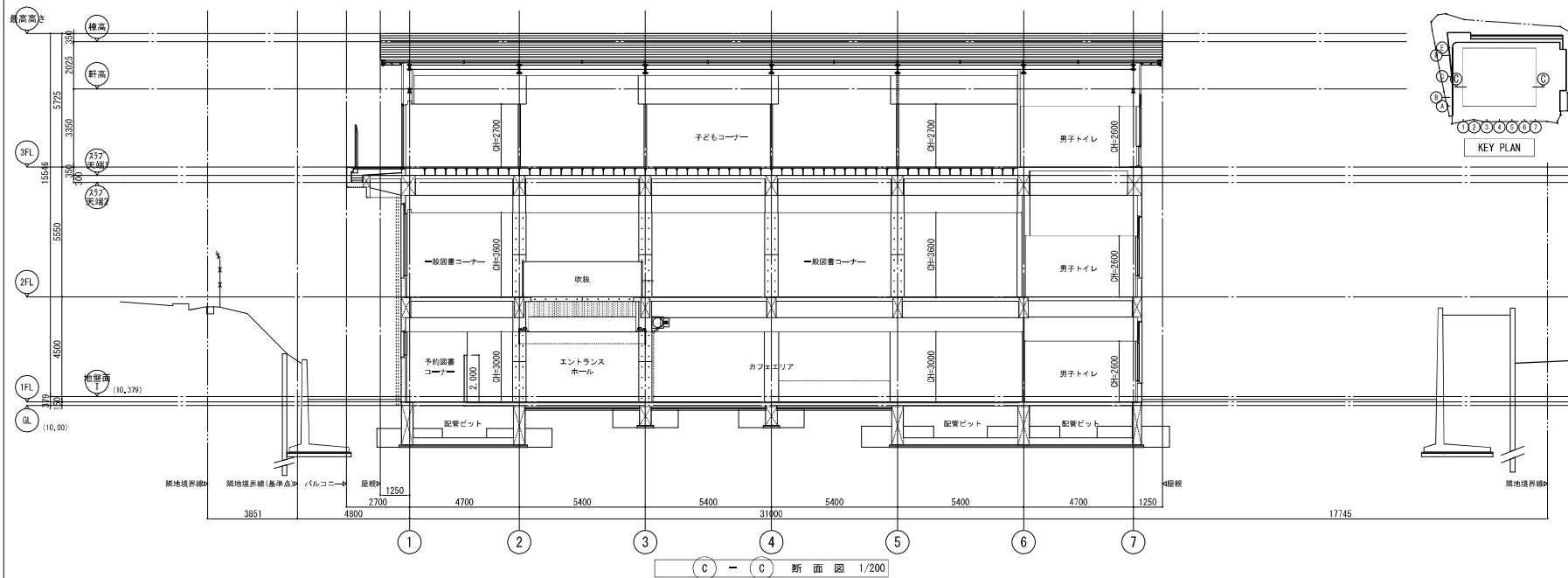
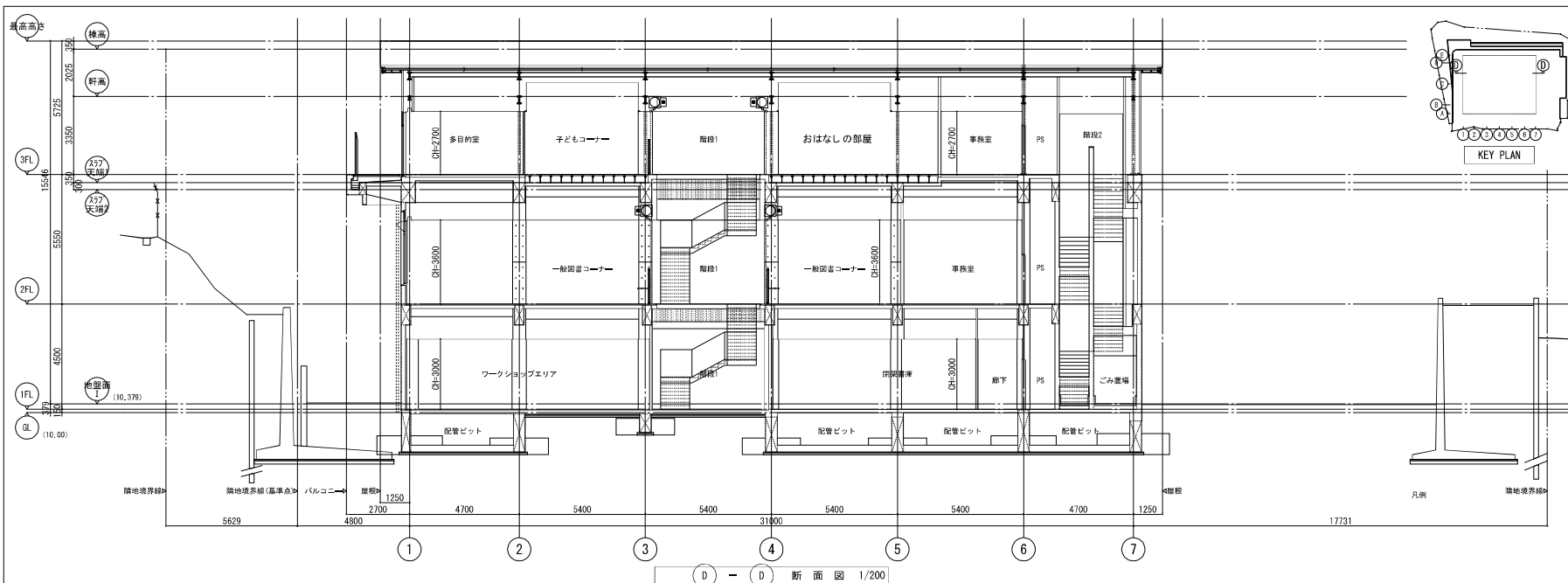
東立面図 1/200



北立面図 1/200

凡例	
(A)	コンクリート打敷し仕上げ材の上、可とう形外装断熱材
(B)	EPDの上、可とう形外装断熱材
(C)	コンクリート打敷し仕上げ材の上、竹の葉打敷し仕上げ材の付
(D)	アルミパネル
(E)	バルコニー手摺A(溶融亜鉛メッキリン酸処理)
(F)	バルコニー手摺B(溶融亜鉛メッキリン酸処理)
(G)	ブリッジ手摺(溶融亜鉛メッキリン酸処理)
(H)	耐火塗料
(I)	アルミ製水切
(J)	金屋断熱
(K)	太陽光パネル(屋根一体型)
(L)	軒樋
(M)	窓樋
(N)	コンクリート打敷し仕上げ材の上、外装断熱材
(O)	アルミ製庇
(P)	アルミ製窓木
(Q)	柱保護パネル(溶融亜鉛メッキリン酸処理)
(R)	ブックポスト





# 1階 コンセプト

## 「賑わい・交流・創作・発信のフロア」

### 1階の特徴

- ・誰もが気軽に立ち寄れる、くつろぎ・賑わいの空間とする。
- ・体験・活動・交流を通して、感性や創造力を育み、創作した成果を発信することで、新たな出会いやきっかけにつなげる。

#### ① <ワークショップエリア>

～自由なモノづくりの空間と、感性・創造力の発信～  
ボランティアによる布絵本などの本づくりや、講師を招いた創作講座、インストラクターを配置し、3Dプリンターなどを活用した創作活動、体験キットを活用した子ども向けの自由工作等を行う。



#### ⑦ <閉架書庫>

利用者が立ち入らないエリアで、蔵書資料を収納する閉架書庫を設け、全体の蔵書数を維持する。

#### ⑥ <カフェエリア>

～誰もが気軽に入れる開放感のあるくつろぎの場～

- ・新聞・雑誌などの書架を充実させ、図書館内の本をカフェエリアで飲食しながら読むことができる開放的な空間にする。
- ・デザイン性の高いソファやカウンター席を配置し、くつろぎ、賑わい、交流の場を演出する。



#### ② <予約図書コーナー>

～区立図書館初の予約図書コーナー～

事前にインターネット予約した資料を、カウンターを通さずに受け取ることができる。



#### ③ <エントランスホール>

～見通しの良い開放的なエントランスホール～

- ・ホール入口にはインフォメーションコーナーのほか、エントランスソファを設置し、休憩できる場所をつくる。
- ・エントランスホールにある吹抜けを活かした見通しの良い開放的な空間をつくる。



#### ④ <情報発信エリア>

～ふらっと立ち寄りたくなる情報発信の空間～

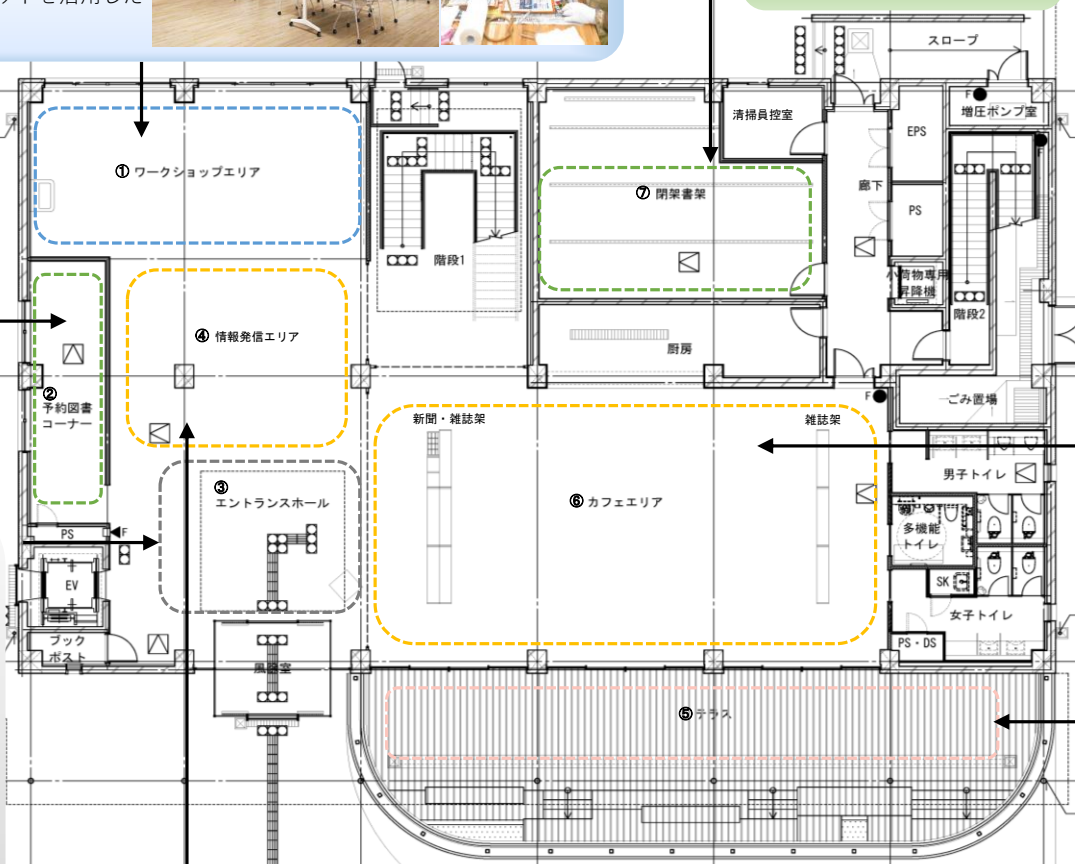
- ・デジタルサイネージや、話題本、新刊本など手に取りやすい展示書架の空間をつくり自然と立ち寄りたくなる情報発信のエリアをつくる。
- ・ワークショップの活動に関連する図書や創作した作品を展示し、新たな出会いにつながる空間をつくる。



#### ⑤ <テラス>

～さわやかな木漏れ日と風が心地よい空間～

カフェエリアとテラスがつながっており、天気の良い日にはテラスでくつろぎながら本を読むことができる。



## 2階 コンセプト

「新たな学びや自分に合った居場所に出会えるフロア」

### 2階の特徴

- ・自分に合った居場所や本に出会える空間にする。
- ・新たな学びや本との出会いを通じて、一人ひとりが知的探索（深める）することができる環境づくりを行う。

#### ① <北西書架エリア>

～落ち着いた雰囲気と本と出会う空間～

多世代で人気のある文学や文庫などの書架を置き、本を手にとってもらう工夫として書架照明を設置する。



#### ⑦ <北側窓面の閲覧席エリア>

～一人ひとりが集中できるパーソナルスペース～  
一人ひとりが静かな空間で、集中して読書・調べもの・学習などができる個室のような閲覧席エリアを整備する。



#### ⑥ <知的探索エリア>

～気軽に立ち寄れるレファレンスエリア～

- ・図書の貸出・返却業務を自動化することで、レファレンス等の相談業務を中心としたカウンターとし、気軽に立ち寄れるよう什器などを工夫する。
- ・地域資料、行政資料、専門書などの調べものに活用できる資料を置く。

#### ② <南側窓面・階段・吹抜けまわりの閲覧席エリア>

～お気に入りの席に出会える自分に合った居場所～

窓面や階段回りの少し開けた閲覧席には、カウンター席や什器の組み合わせを変えるなど、自分に合った閲覧席に出会えるエリアをつくる。



#### ③ <若い世代向け書架エリア>

～若い世代が集まる隠れ家のような居場所～  
書架の並びに変化をもたせ、スタンド照明とあわせて隠れ家のような居場所をつくり、蔵書を工夫するなど、若い世代向けの空間をつくる。



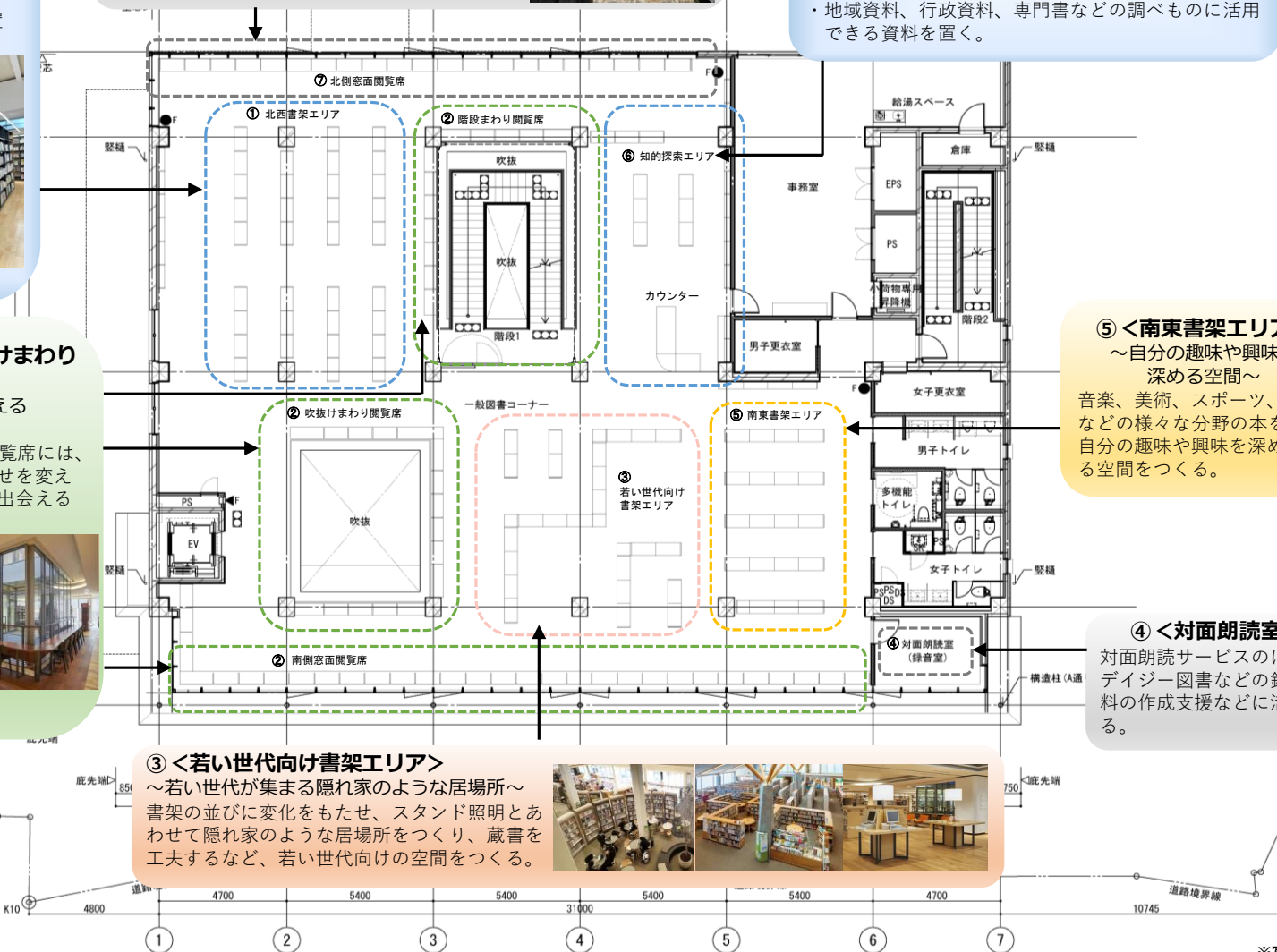
#### ⑤ <南東書架エリア>

～自分の趣味や興味を深める空間～

音楽、美術、スポーツ、旅行などの様々な分野の本を置き、自分の趣味や興味を深められる空間をつくる。

#### ④ <対面朗読室>

対面朗読サービスのほか、ダイジェスト図書などの録音資料の作成支援などに活用する。



## 3階 コンセプト

### 「自然を感じながら感性を育むフロア」

#### 3階の特徴

- ・羽根木公園と図書館がつながり、自由に行き来できることで、子どもだけでなくファミリーなど多世代の学びのきっかけをつくる。
- ・自然やまちの景観を感じられる居心地の良い場を設けるなど、一人ひとりが自由にくつろげる空間をつくり、感性を育む。

#### ① <多目的室>

～様々な目的に使用できる  
フレキシブルな空間～

可変性の高いパーソナルなテーブルを置き、本の著者による講演会、映画上映、健康講座等のイベント、小規模の勉強会、学習室など様々な目的に合わせて使用する。

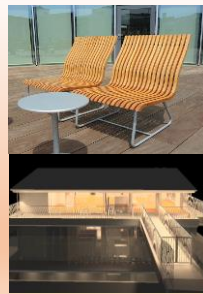


#### ⑥ <ブリッジ>

羽根木公園と直接つながるブリッジを設置し、利用者の利便性向上などを図り、公園やプレーパークと連携したイベントなどを行う。

#### ⑤ <テラス>

～自然や景観を感じながら過ごせるテラス～  
・開放されたテラスで自然やまちの景観を感じながら、読書や親子での読み聞かせなどができる。  
・夜はテラスの柵をライトアップし、図書館の利便性・視認性を高め、森（公園）の中にある図書館を演出する。



#### ④ <おはなしの部屋>

～自由にくつろげる優しい空間～  
・子どもや親子などがくつろげるように什器などを工夫する。  
・自由に絵や文字をかける壁面を設置する。



#### ② <公園と図書館がつながるエリア>

～図書館内も緑を感じられる  
公園と一体性のあるエリア～

- ・フェイクグリーンや木目柄の什器を使用することで、利用者が公園との一体性やつながりを感じながら、自由に利用できる居心地の良い空間をつくる。
- ・料理・手芸・子育て・ペット関係など生活に役立つ本を置き、子どもを遊ばせながら大人も本を読むくつろぎの場をつくる。



#### ③ <子どもコーナー>

～楽しみながら本と出会う空間～

- ・楽しみながら読書ができるように書架の形状などを工夫し、子どもがわくわくするような什器を取り入れて、子どもと本との出会いのきっかけをつくる。
- ・夜は可動式書架を活用して、大人向けの絵本を並べるなど、大人も利用できるコーナーにする。

